

PRESS RELEASE

【報道関係各位】



2025年2月吉日

さいたま市プラザノース

Domain of Art 34 藤田道子展

右から光り



PHOTO by TAKAHASHI Kyoko

展示概要

このたびプラザノースでは、「Domain of Art — 芸術の創造の領域」の第34回として「Domain of Art 34 藤田道子展 右から光り」を開催いたします。

藤田は、絹糸・布・ビーズ・鏡・木片の素材を用いた立体作品やシルクスクリーンの平面作品、写真、映像など多彩な手法で作品を発表。光や風などの自然現象の微細な移ろいをみずみずしい感性で捉え、個々の作品を呼応させ風景をつくっていきます。そして、天気や時間が注み出す光の変化が作品の様々な表情を引き出し、その存在は私たちの意識を研ぎ澄ませるかのようです。

日々、私たちはそのままをそのままとして受け止めることの難しさやもどかしさを味わうことが少なくありません。藤田の作品は光を受けてそこに佇み、みる人の心に優しく寄り添います。そして、その時間は自身が偏りのない中庸な存在だと改めて気づかせてくれます。

本展では、これまでの様々な作品シリーズの新作と、今回が初めての発表となる影に焦点をあてた作品「右から光り」で構成する、藤田の過去一番の規模のインスタレーションをご覧ください。

ノースギャラリーに漂う空気や光をただ感じ、そこに広がる風景を発見してみてください。

「右から光り」に寄せて～藤田道子より

「右から光り」というタイトルは、20年ほど前の個展で一度つけたことがあるものです。

当時の部屋で、窓からの光と未完成の作品の間で生まれた、一瞬のささやかな現象から名付けました。

光の移ろいが未完成の作品の姿を変化させていく。その様子がまるで初めてみる出来事のように私の目に映り、驚きと新鮮な感動を与えてくれました。

以来、この体験は私の制作の核となり、様々な素材の力を借りて作品に投影してきました。

時を経て、ノースギャラリーの大きな空間で再びこのタイトルの展示ができることを、とても嬉しく思っています。

1

藤田道子（プロフィール）

1980年大阪府生まれ

東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻領域版表現コース卒業

東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻領域版表現コース研究生修了

現在、東京を拠点に活動中。



近年の個展

2024年 透明なかたち／「+S」Spiral Market 大阪

2023年 線上に眠る／けええどの会所

2021年 ほどく前提でむすぶ／茅ヶ崎市美術館

2019年 pink to yellow/museum shop T

2018年 氷がとけるまで／switch point

2017年 「光と空間のための作品」展／茅ヶ崎市美術館エントランス

2

近年のグループ展

2024年 mamelon×藤田道子／NEUTRAL FURNITURE AND SUPPLY CO.

雨と部屋と／Spiral エントランス

2021年 In their shoes 2／KAYOKOYUKI

voca 展 2021／上野の森美術館

2018年 “One room” SHOKKI +MichikoFujita／準備中



3



1,2 PHOTO by TAKAHASHI Kyoko 3 FUJITA Michiko

展覧会概要

Domain of Art 34 藤田道子展 右から光り

会期：2025年2月22日（土）～3月16日（日） 10:00～17:00

※3月10日（月）は閉場

会場：さいたま市プラザノース ノースギャラリー 4～7

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1-852-1 入場料：無料

主催：J&I 共同事業体（さいたま市プラザノース指定管理者）

お問い合わせ：プラザノース総合インフォメーションカウンター

Tel. 048-653-9255（10:00～20:00） Fax.048-653-9288 ※平日の第2・4月曜日は17:00まで

※掲載写真と実際の出展作品は異なります。※掲載写真、文章などの無断使用、転載等は固くお断りいたします。

【お願い】 やむを得ない事情により、展示内容を変更または中止・延期する場合があります。あらかじめご了承ください。

最新情報はプラザノースホームページをご覧ください。<http://www.plazanorth.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】さいたま市プラザノース事業課浅木 Tel.048-669-0300(10:00~17:00) Fax.048-653-9288 Mail: jigyo@plazanorth.jp